

【障害者週間】

東欧音楽家支援 国際親善交流特別演奏会

日本・ルーマニア文化交流演奏会

ウクライナ緊急人道支援・ポーランド避難民支援

チャリティーコンサート

及川 光悦 指揮

Mitsuyoshi OIKAWA
CONDUCTOR

マリア・マリカ ヴァイオリン

Maria MARICA
VIOLIN

後藤 真利子 ピアノ

Mariko GOTO
PIANO

村田 孝樹 ピアノ

Koki MURATA
PIANO

Mozart Virtuoso Festival Orchestra

モーツァルト ヴィルトゥオーゾ 祝祭管弦楽団 第84回記念定期演奏会

2026 3.27(金)

開演18:30
(開場18:00)
全席指定 ¥5,000

浜離宮朝日ホール

18:30 p.m. Friday, March.27 At HAMARIKYU ASAHI HALL

PROGRAM

✦ モーツァルト作曲: ピアノ協奏曲 第24番 ハ短調 K.491 MOZART: PIANO CONCERTO NO.24 IN C MINOR, K.491
ピアノ: 後藤真利子 PIANO: Mariko GOTO

✦ ベートーヴェン作曲: ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58 BEETHOVEN: PIANO CONCERTO NO.4 IN G MAJOR, op.58
ピアノ: 村田孝樹 PIANO: Koki MURATA

— 休憩 —

✦ ベートーヴェン作曲: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61 BEETHOVEN: VIOLIN CONCERTO IN D MAJOR, op.61
ヴァイオリン: マリア・マリカ VIOLIN: Maria MARICA

お問い合わせ・チケット申し込み 日本音楽文化交流協会 TEL / FAX 03-3442-2325

主催: 国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 日本・ポーランド協会

後援: ルーマニア大使館・ルーマニア文化会館東京支部・日本赤十字社・朝日新聞社

特別協賛: meiji 株式会社 明治

協力: サッポロビール・メルシャン株式会社



Photo: 猪股 政明

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。 ※障害者、養護施設、母子家庭、大震災避難者、医療従事者の方々を御招待致します。
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

※体調不良の際は、ご来場をお控え下さい。 ※ご来場、ご鑑賞時等ホール内ではマスクをご着用下さい。

✧ 及川 光悦 指揮 CONDUCTOR: Mitsuyoshi OIKAWA

1949年、北海道に生まれる。
5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を目指す。
1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。
1975年8月、フランス・ニース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。
1975年10月、研究科在学中に推薦されバリオ留学。
エコール・ノルマン音楽院にてビエール・デルポー氏に師事、スコラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。
1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマール・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。
1977年帰国、故岩城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。
1978年、小澤征爾氏に師事。同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学、小澤征爾氏のもとで研鑽を積む。
1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、チェレビダッケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、サバリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、バリオペラ座、バイロイト音楽祭、ベローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル本番、レコーディングに立ち会い研鑽を積む。
1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新星日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。
1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」〜「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈な歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ「11・PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。
1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府(外務省)・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。
1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、

日本政府(外務省)・国際交流基金の援助のもと“文化使節”として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」・FMジャパン「ウェーブキャットフィッシュ」出演。
1990年6月、チェコ・スロバキア(ズリーン)マルティス・フィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー。
11月、中国(北京)中国電影楽団にて故園田高弘氏と演奏会開催。
12月、ソ連「チャイコフスキー交響楽団(旧モスクワ放送交響楽団)」・ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ(キエフ)・ヤロスラブリ フィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。
1992年9月、中国(北京)・中国電影楽団にて日中国交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府(外務省)・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。
1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ペトロフ氏と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。
12月、ハンガリー文化教育部の後援のもとでフランツ・リスト音楽院大ホールにてサント・ステファン交響楽団と共演。
1994年10月、日本政府(外務省)・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。
1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。
1997年2月、日本政府(外務省)・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノク シンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。
10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。
1998年4月、ポーランド・アントゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニーオーケストラと共演。

1999年10月、日本・ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。
2000年、「文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員」就任。
2001年5月、名門オーケストラである「サンクトペテルブルグ交響楽団」(旧レニングラード交響楽団)と共演。
2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。
2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天満敦子女史と共演。
2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。
2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。
2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。
2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に對して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名誉章」を授与される。
2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー(ブリュッセル)にてトルン交響楽団と共演。
2011年10月、ポーランド(ビゴドシチ)ボメラニアン・パデレフスキ国立交響楽団と共演。ベルギー(ブリュッセル)にてポーランドEU議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ボメラニアン・パデレフスキ国立交響楽団と共演。
2013年1月〜2月、豊島区制施行80周年記念に對して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。
10月〜11月、社会福祉法人「東京都社会福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東欧音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。
2014年7月、ルーマニア政府・トラヤン・バセスク大統領より「文化功績勲章」を受章。
2019年3月、ブルガリアー・日本両国関係発展に對して、ブルガリア共和国政府・外務省より名誉表彰勲章「Golden Laurel Branch(金の月桂樹)」最高位を受章。
2019年10月、ポーランド共和国文化国家遺産大臣より文化功労勲章「グロリア・アルティス」を受章。
2023年6月、日本赤十字社より「金色有功章」を受章。

✧ マリア・マリカ ヴァイオリン VIOLIN: Maria MARICA

2022年ジョルジュ・エネスク国際ヴァイオリンコンクール優勝者であり、ルーマニア音楽批評家・編集者・プロデューサー連合より2024年年間最優秀器楽奏者に選出されたマリア・マリカは、ルーマニアのクルージュ・ナポカに音楽家の家庭に生まれ、7歳でヴァイオリンを始めた。故郷でヴァシレ・ソチエアとニクシュール・シラギに師事した後、ドイツのザールブリュッケン音楽大学にてダヴィド・グリマルとクシシュトフ・ホルゼルススキに師事。
マリアはルーマニア全土はもちろん、フランス、イタリア、ポルトガル、ポーランド、ハンガリー、ドイツ、ベルギー、アメリカ合衆国でリサイタルやコンサートを開催。フランツ・ヘルメルソン、マルク・コッペ、ダヴィド・グリマル、ボリス・プロフツィン、セルゲイ・マロフ、ヴィクトル・ジュリアン・ラフェリエール、ソレーヌ・バイダッシ、フィリップ・カサールら著名なアーティストとの室内楽共演の機会を得て、2023年11月にはブカレストのルーマニア・アテネ音楽堂でのリサイタルが欧州放送連合(EBU)の「トップ・ヤング・パフォーマーズ・プログラム」に選出された。
交響曲レパートリーに情熱を注ぐ彼女は、アンサンブル「レディソナンス」のメンバーであり、また、ウィーン・ムジークフェライン、エルブ・フィルハーモニー、パリ・フィルハーモニー、ベルリン・コンツェルトハウスなどの会場で演奏する機会を得たルーマニア・ユース・オーケストラのメンバーでもある。
マリアは、1845年製のオーギュスト・セバスチャン・フィリップ・ベルナルデル製のバイオリンを個人から借り受け、また、ルーマニアの弦楽器製作者、ニクラエ・ヴァダンの製作した現代楽器も所有している。

✧ 村田 孝樹 ピアノ PIANO: Koki MURATA

北海道北見市に生まれ、7歳よりピアノを始める。北見北斗高校を卒業後、東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程を修了。
デュッセルドルフ・アントン・ルービンシュタインアカデミーにて更に研鑽を深める。
第56回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位。藝大在学中にモーニングコンサートに選出され、藝大フィルハーモニアと共演。
第14回リト音楽院セミナー最優秀受賞者に選出され、ブダペスト春の音楽祭にて、ソロリサイタルを開催する。
2022年ウクライナ緊急人道支援、ポーランド避難民支援チャリティーコンサートにピアニストとして、北海道4都市にてリサイタルツアーを行う。
現在は北見市を拠点に、自身が提唱するピアノの弾き方「キープ奏法」を取り入れたレッスンや、2025年より開始した「自主企画リサイタルシリーズ」等の演奏活動を行っている。

✧ 後藤 真利子 ピアノ PIANO: Mariko GOTO

京都府出身。京都市立京都堀川音楽高等学校を経て、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。ポーランド国立ショパン音楽大学研究科修了。ポーランド・ブスコズドゥルイで行われた「ショパンと共に過ごす夏」国際音楽祭に招かれソロリサイタルを開催。
兵庫にて日本ショパン協会関西支部主催の「ショパンの夕べ」推薦コンサートに出演。好評を博し、京都青山バロックザールにて青山財団特別助成ソロリサイタル「ショパンとシマノフスキ ポーランドに想いをよせて」を開催。
ショパン音楽大学で行われた第12回ショパン生誕200周年記念全曲演奏会に出演。ホテルオークラ東京にて「ピアノリサイタルの夕べ」、淡路島、大津にて河合楽器製作所・新SK発表記念コンサートに出演。横浜ラポールにて開館20周年記念及び、日本・ブルガリア文化交流演奏会に出演。京都コンサートホールにて文化庁・日本演奏連盟主催のリサイタル「東欧からバリエーリストとショパン」を開催。
Office Laid BackよりCDアルバム「W Ogródzie Saskim…」を発売。ピアノトリオ「Lucian Trio」を結成し、弦楽との室内楽の演奏活動も続けている。
これまでに、山田淳子、宮部敦子、田隅靖子、坂井千春、クシシュトフ・ヤブウォンスキ、イエジ・ステルチンスキの各氏に師事。
現在、大谷大学非常勤講師、京都文教大学非常勤講師、京都市立芸術大学音楽教育研究会京都子どもの音楽教室常勤研究員。